

2023年抱負



参議院議員・薬剤師 本田 顕子

寄稿を続けさせていただいているオレンジ日記も早6回目の年越しとなりました。月に1回、思い（想い）を文章にして会員の皆様に読んでいただけるコーナーがあることは大変ありがたいことです。皆様への感謝の気持ちを込めて、今年は熱く語る年にしたいと思います。

大晦日に年内訪問が叶わなかった薬局数軒に電話をかけました。留守電にメッセージを残す気持ちでかけたところ、「はい、●●薬局です」、「うちは大晦日に関わらずあけています」、「年末年始に備えて特に抗原検査キットの需要が多く、皆さんのためにあけています」というお言葉でした。転送先の携帯電話につながる薬局もありました。休みなく医療対応が続く光景は各地とも同じであったと思います。ご対応なされた先生方に感謝を申し上げます。

4月に統一地方選挙があります。地域経済や教育、医療、福祉など暮らしに直結する政策を競う選挙ですので党としても重要な政治日程と捉えています。そして、世界を見据えると5月にG7サミットが広島、保健大臣会合が長崎で開催されます。G7サミットは、自由、民主主義、人権などの基本的価値を共有するG7首脳が一つのテーブルを囲んで、世界経済、地域情勢、様々な地球規模課題について率直に意見を交わす場です。これらに薬剤師議員として関われることを大変うれしく思っています。パンデミックを含めた将来への予防、備え、対応を強化していくことを国内外に発信する機会になるようにしっかり取り組ませていただきます。

今年は兎年です。跳ねる年にしていくため、この冬を大切にしていきたいと思います。

薬剤師として政策提言を続け、国民の皆様の命と暮らしを守り、心豊かな日本を次世代につないでまいります。